

体育教員が日本について英語で教えてみたら。 Vol.4

10月27日（木）、この日はWoodvale Primary SchoolでJapanese Assemblyが行われました。ここは私が毎週火曜日に勤務している学校ですが、特別にアッセンブリーだけ参加させてもらいました。

現在、群馬県の私立小中高一貫校から小学生が3週間の短期留学で訪れています。この学校は2003年、国の構造改革特区第一号として英語教育特区に認定された学校です。小学校の段階から国語・社会・家庭科を除く英語・算数・理科・生活科・音楽・図工・体育・コンピュータ・道徳を英語で行っており、日本人とEnglish Native Speakerの2人が担任をする特色のある学校です。小学6年生約80人がパースのいくつかの小学校に分かれて勉強しており、WPSはそのうち14人を受け入れています。さすが英語に重点を置いて勉強しているだけあって、子どもたちはネイティブのように英語を話しますし、毎日の日記も英語で全て書いて提出しています。English inputだけでなくEnglish outputにもかなり力を入れているのがよくわかりました。

Japanese Assemblyでは日豪の文化交流としていくつかの催しがありました。WPSの小学生は、ずらっと30人くらいが前に出て、「アルゴリズム体操」を歌いながら、踊りを披露しました。

♪あっちむいて ふたりで まえならえ♪こっちむいて ふたりで まえならえ♪
群馬の小学生は全校生徒の前で一人ずつ自己紹介をし、14人揃ってソーラン節を見事に踊り、大きな歓声を受けていました。

私もホストティーチャーに招待されて、アッセンブリーに参加しました。この小学校に勤めてもう半年が過ぎたので、ほとんどの生徒が私のことを知っていますが、全体の前に立って話をするのは初めてでした。自己紹介をして、兵庫県と西オーストラリア州が姉妹都市であることで交換教員として派遣されていることを改めて生徒や保護者を前に話げできました。



Japanese Assemblyの様子

小学生は本当に音を拾うのが上手です。アルゴリズム体操も歌詞の意味はわかりませんが、発音は見事なものです。”Woodvale”はキーワードで「ウッドベール」というと伝わりません。「w」「v」「r」の3つの音を正しく出せないと働いている場所すら伝えられないのです。渡豪当初は勤務校が伝わらず、苦労したのを思い出しました。



日本語教室の様子